



ファチマで天使がルチア、フランシスコ、ヤシントに教えた祈り

1917年5月13日にファチマで聖母が出現されますが、その前の1916年春、ポルトガルの天使であり、平和の天使でもある一位の天使が子供達に出現し、まるで聖母の御出現の準備かのように、子供達に次の祈りを教えました。

私の神よ、あなたを信じ、あなたを礼拝し、あなたに希望し、あなたを愛します。あなたを信じず、あなたを礼拝せず、あなたに希望せず、あなたを愛さない人々をお赦してください。

同年の秋には、天使は左手にカリスを持ち出現します。カリスの上にはホステイアが浮かんでおり、ホステイアから血がしたりカリスの中に落ちていきました。「君たちは何をしているのですか？ 祈ってください。たくさん祈って！ イエスとマリアの聖なるみ心はあなた方に慈しみのご計画をお持ちです。至聖なる御者に絶え間ない祈りと犠牲を捧げなさい。」

「君たちにできることを全て、犠牲として、神を傷つけた全ての罪の償いとして、罪人の回心のための執り成しとして、神に捧げなさい。このようにするならば、君達の祖国に平和がもたらされます。私は君達の祖国の守護の天使、ポルトガルの天使です。何よりも、主が君達に送られる苦しみを受け入れなさい。」

天使はカリスを空中に浮かべたまま地面に跪き、顔が地面につくほど頭を深く下げて次の祈りを三回祈りました。そして子供達にもその祈りを唱えるようにと促しました。

至聖なる三位一体の神、御父と御子と聖霊よ、

私は心からの畏敬の念を持ち、あなたを礼拝します。主が受けられている侮辱、誹謗中傷、冒瀆、無関心の罪を償うために、地上のすべての「聖櫃の内に現存されるイエス・キリストの尊い御体と御血、ご靈魂と神性をみ前に捧げます。主の聖なる御心とマリアの汚れない御心の無限の御功德によって、主よ、あなたに、哀れな罪人の回心の恵みを願います。アーメン

十十十 十十十 十十十

【聖母への奉獻の祈り】

至聖なるおとめマリア、神の御母、私の母よ。あなたの汚れない御心に、私自身と私の持ち物のすべてをお捧げします。あなたの母なるご保護のもとに私を匿い、すべての危険からお護りください。体と魂が清く保たれるために、悪への誘いに打ち勝つことができるように私を助けてください。あなたの汚れない御心が私の避難所であり、神へと導く道でありますように。

罪人の回心のために、また、あなたの汚れない御心に対して行われた罪を償うために、イエスへの愛のうちに祈り、犠牲をする恵みを私に願ってください。私は、あなたと、あなたの神なる御子の御心と一致して、私が信じ、礼拝し、希望し、愛する聖三位一体の神に、自分自身を捧げ尽くして生きてゆきたいのです。アーメン

【短い奉獻の祈り】

ああ、御母よ、今も、永遠に、私はあなたのものです。あなたを通して、あなたと共に私は完全にイエスのものでありたいのです。アーメン

これらの祈りは私の個人的な訳です。「了承の上」で使用ください。ゲスマン和歌子